

凄インドの華麗なる結婚式 若年人口が多く、関連業種への波及効果大

シャイニング・インド（マクロ関連）～Wed in India モディ首相も結婚を後押し～

▶ インドで結婚式を挙げよう

世界最大の人口を有するインドの人々はそのライフサイクルの中で、結婚を意識する層も多いのではないのでしょうか。世界第二位の人口の中国対比でも20-30代に厚みがあります（右図参照）。モディ首相は「**Wed in India**（インドで結婚式を挙げよう）」キャンペーンを立ち上げ、特に富裕層に対して、結婚式をインド国内で行うよう働きかけています。

背景としては、富裕層による結婚式は特に豪華で、インド国内における結婚関連産業への恩恵が大きいことが挙げられます。一方、コロナ禍が落ち着くにつれ、インド人富裕層がタイやモルディブなどの近隣の有名観光地で結婚式を行うことによる、機会損失の懸念があるためとも憶されています。

▶ 富裕層は、結婚式には費用を出し惜しまない

自身や親族、友人の結婚式を振り返ると、確かに挙式に携わる人々の多さに驚きます。式場設営をはじめ、司会、カメラマンなど、式を支える人々の働きに加え、飲食の提供や引き出物はかなりの量となり、まさに一大消費イベントで多くの人々に経済的な恩恵が行き渡ることが期待できます。

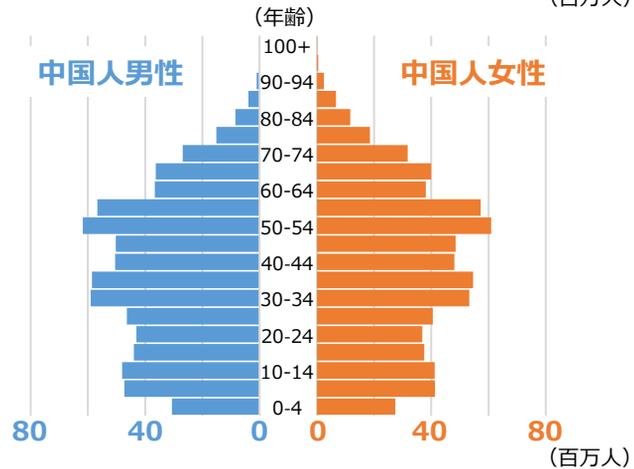
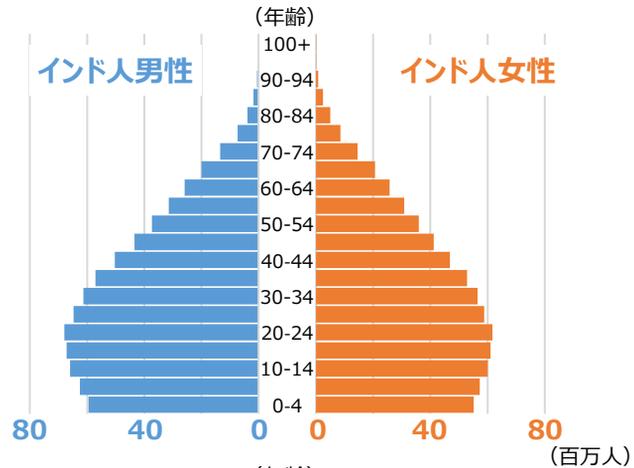
富裕層の結婚式は相対的に大規模で、例えば、ミシュランの星を獲得した料理人を招待したり、国際的に活躍する有名歌手を招待したりします。加えて、結婚式の様子を録画するサービスが好評で、新郎新婦を式場までヘリコプターで運ぶという日本人の度肝を抜くようなことにお金を使っているようです。モディ首相が「結婚式はインド国内で」というのも頷けます。

▶ 豪華結婚式費用は30万米ドル（4,500万円）

インドで「豪華」とされる結婚式費用の目安は約30万米ドル（約4,500万円！1米ドル＝150円換算）との説があります。結婚式では、新郎新婦は様々な宝飾品や衣装で着飾りますが、この金額には含まれず、これもまた驚きです。インド宝飾品市場では、結婚式による需要が過半を占めるという話もあります。

日本の場合、ゼクシィ結婚トレンド調査2023では、「挙式、披露宴・ウエディングパーティー」の総額平均は327万円です。実に、インドの富裕層は日本の約14倍の費用をかけており、豪華な結婚式は広範な関連業種で働く人々を豊かに潤し、個人消費の原動力を高めるでしょう。その結果、新たな富裕層を生む可能性も秘め、このような富の好循環を考えると、インド経済に与える恩恵は持続的であると考えられます。

インドと中国の人口ピラミッド（2023年）



ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会